



平成27年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年6月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社くらコーポレーション

コード番号 2695 URL <http://www.kura-corporo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長

(氏名) 津田 京一

TEL 072-368-6211

四半期報告書提出予定日 平成27年6月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年10月期第2四半期の連結業績(平成26年11月1日～平成27年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年10月期第2四半期	50,479	7.0	2,782	1.1	3,098	6.0	1,930	11.6
26年10月期第2四半期	47,196	10.1	2,751	12.9	2,922	7.3	1,729	11.5

(注) 包括利益 27年10月期第2四半期 2,034百万円 (16.1%) 26年10月期第2四半期 1,751百万円 (13.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年10月期第2四半期	97.79	—
26年10月期第2四半期	83.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年10月期第2四半期	39,482	24,090	61.0
26年10月期	38,139	22,293	58.5

(参考) 自己資本 27年10月期第2四半期 24,090百万円 26年10月期 22,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年10月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年10月期	—	0.00	—	—	—
27年10月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年10月期の連結業績予想(平成26年11月1日～平成27年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,335	3.5	4,883	1.4	5,247	1.4	3,147	3.5	159.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年10月期2Q	20,699,800 株	26年10月期	20,699,800 株
② 期末自己株式数	27年10月期2Q	956,720 株	26年10月期	956,720 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年10月期2Q	19,743,080 株	26年10月期2Q	20,699,680 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年11月1日から平成27年4月30日)におけるわが国経済は、企業業績の改善から日経平均株価が15年ぶりに2万円台を回復するなど、回復基調が続きました。2015年春闘における主要企業の名目賃金上昇率は2%を超え、消費税増税の一巡と原油安による物価上昇率の鈍化から、実質賃金は足元プラスに転じたとみられ、個人消費は持ち直しの動きとなりました。

外食産業におきましては、消費者の食の安全に対する不安が拡大した局面があったものの、個人消費の回復傾向を背景に、全体として堅調に推移いたしました。しかしながら、労働需給ひっ迫に伴う人件費の上昇や、各種コストの上昇により、当社グループにとって引き続き厳しい環境が続いております。

消費者が自ら広範囲にさまざまな情報を集積・共有・拡散しながら企業や商品価値を判断し、消費選択を行うという事業環境にあつては、他社との差別化のために、安心・安全を前提として、独自の付加価値ある商品の提供と、適切な訴求が必要と考えております。

当社グループは創業以来のコンセプトとして『四大添加物(化学調味料・人工甘味料・合成着色料・人工保存料)』を完全に排除した商品を開発・提供しております。寿司の基本調味料である酢・醤油・わさびに始まり、ラーメン、茶碗蒸し、デザートにいたる全ての商品から『四大添加物』を排除した商品を提供しております。

また、当社は自社開発の寿司キャップ『鮮度くん』を使用しております。空気中のホコリや雑菌から寿司を保護する効果に加え、回転レーン移動時の風による酢の揮発やそれに伴うシャリの冷却、ネタの乾燥を防ぎ、寿司の鮮度をできたての状態でご提供させていただくことにより、「安心でおいしい」とお客様から高い評価をいただいております。さらに商品開発におきましても「常にお客様に感動と驚きを」との考えのもと、年間1,000種類以上の試作品を作成し、専門店に負けないサイドメニューの開発に努めております。

販売促進面では、人気寿司ネタの「とろvsかに」、「熟成まぐろ」、「サーモン」の極上ネタをご提供するフェアを毎月実施いたしました。3月に開催いたしました「熟成まぐろフェア」におきましては、人気アニメ「名探偵コナン」とタイアップし、「名探偵コナン腕時計」などオリジナルグッズをプレゼントいたしました。また、「熟成大とろ(税抜1貫200円)」などこだわりのマグロを提供させていただき、お客様にご好評をいただきました。

店舗開発につきましては、新潟県、宮崎県、沖縄県に初出店をしたのをはじめ、西日本地区で5店舗、東日本地区で4店舗の計9店舗を新規出店し、米国子会社「Kula Sushi USA, Inc.」の7店舗を加えた結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は、全て直営で361店舗(「無添蔵」4店舗、非連結子会社の台湾1店舗を含む)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は504億79百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益27億82百万円(同1.1%増)、経常利益30億98百万円(同6.0%増)、四半期純利益は19億30百万円(同11.6%増)となりました。

なお、平成27年3月31日、連結子会社「Kula Sushi USA, Inc.」において、米カリフォルニア州に米国店舗では初めてとなる「ビックらポン」や「水回収システム」などを装備した、米国8番目の「サンディエゴ店」をオープンし、タッチパネルのアニメーションやミニチュア寿司の景品が現地で評判となっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、394億82百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億43百万円の増加となりました。これは、主に流動資産のその他が6億54百万円、有形固定資産のその他が7億82百万円増加した一方で、現金及び預金が6億4百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して4億54百万円減少し、153億92百万円となりました。これは、主に買掛金が3億8百万円増加した一方で、流動負債のその他が3億86百万円、リース債務が3億4百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が16億93百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して17億97百万円増加し、240億90百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが33億24百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが27億84百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが12億54百万円の支出となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)残高は、期首より6億4百万円減少し、65億64百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は33億24百万円(前年同期比23.8%減)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が30億89百万円となり、減価償却費が17億3百万円あったことと仕入債務が3億3百万円増加した一方で、法人税等の支払が12億19百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は27億84百万円(前年同期比172.3%増)となりました。これは有形固定資産の取得による支出が21億24百万円、貸付けによる支出が5億8百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は12億54百万円(前年同期比3.4%増)となりました。これは、主にリース債務の返済による支出が9億17百万円、配当金の支払が2億36百万円、長期借入金の返済による支出が1億円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月期第2四半期の連結業績予想は、平成27年6月2日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正を行っております。なお、平成27年10月期通期連結業績予想につきましては、平成26年12月12日に公表いたしました内容から変更ありません。

詳細につきましては、平成27年6月2日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)及び「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の35.64%から平成27年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については33.06%に、平成28年11月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、32.26%となります。

なお、当該変更が繰延税金資産及び法人税等調整額に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,168,447	6,564,017
原材料及び貯蔵品	638,957	691,930
その他	981,058	1,635,921
流動資産合計	8,788,463	8,891,869
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	12,014,207	12,532,957
その他(純額)	7,610,832	8,393,202
有形固定資産合計	19,625,040	20,926,160
無形固定資産	921,334	723,116
投資その他の資産		
長期貸付金	3,408,108	3,483,447
差入保証金	3,824,685	3,953,121
その他	1,572,079	1,505,198
投資その他の資産合計	8,804,873	8,941,767
固定資産合計	29,351,248	30,591,044
資産合計	38,139,711	39,482,914
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,750,590	4,058,935
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払金	3,313,555	3,448,301
未払法人税等	1,309,222	1,159,216
その他	3,044,545	2,658,257
流動負債合計	11,617,914	11,524,711
固定負債		
長期借入金	200,000	100,000
リース債務	2,544,262	2,239,769
資産除去債務	1,225,492	1,278,858
その他	258,616	248,748
固定負債合計	4,228,371	3,867,375
負債合計	15,846,285	15,392,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	20,233,092	21,926,870
自己株式	△2,353,421	△2,353,421
株主資本合計	22,219,385	23,913,162
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	74,041	177,664
その他の包括利益累計額合計	74,041	177,664
純資産合計	22,293,426	24,090,827
負債純資産合計	38,139,711	39,482,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年4月30日)
売上高	47,196,255	50,479,216
売上原価	21,428,345	23,315,203
売上総利益	25,767,909	27,164,013
販売費及び一般管理費	23,015,994	24,381,250
営業利益	2,751,914	2,782,762
営業外収益		
受取利息	32,381	32,087
受取手数料	128,691	162,492
為替差益	12,464	96,377
物販収入	70,491	75,061
雑収入	19,775	28,467
営業外収益合計	263,803	394,486
営業外費用		
支払利息	36,718	29,361
物販原価	37,423	40,406
雑損失	19,056	8,984
営業外費用合計	93,197	78,752
経常利益	2,922,520	3,098,496
特別利益		
固定資産売却益	1,153	—
特別利益合計	1,153	—
特別損失		
固定資産除却損	8,435	5,583
店舗閉鎖損失	—	3,600
減損損失	2,777	—
特別損失合計	11,212	9,183
税金等調整前四半期純利益	2,912,461	3,089,313
法人税、住民税及び事業税	1,172,080	1,071,115
法人税等調整額	10,571	87,503
法人税等合計	1,182,652	1,158,619
少数株主損益調整前四半期純利益	1,729,808	1,930,694
四半期純利益	1,729,808	1,930,694

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,729,808	1,930,694
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	22,179	103,623
その他の包括利益合計	22,179	103,623
四半期包括利益	1,751,988	2,034,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,751,988	2,034,317
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年11月1日 至 平成26年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,912,461	3,089,313
減価償却費	1,671,042	1,703,987
減損損失	2,777	—
受取利息	△32,381	△32,087
支払利息	36,718	29,361
たな卸資産の増減額(△は増加)	△70,430	△50,383
仕入債務の増減額(△は減少)	557,281	303,490
未払消費税等の増減額(△は減少)	179,924	△478,850
その他	74,172	8,306
小計	5,331,566	4,573,138
利息の受取額	72	991
利息の支払額	△36,633	△29,291
法人税等の支払額	△931,526	△1,219,848
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,363,478	3,324,989
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△534,109	△2,124,365
有形固定資産の売却による収入	2,136	—
無形固定資産の取得による支出	△500	△4,560
関係会社株式の取得による支出	△285,600	—
貸付けによる支出	△122,799	△508,052
差入保証金の差入による支出	△87,121	△128,430
差入保証金の回収による収入	33,980	17,120
その他	△28,707	△36,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,022,720	△2,784,414
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△865,945	△917,768
配当金の支払額	△247,911	△236,718
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,213,857	△1,254,487
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,678	109,481
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,144,580	△604,429
現金及び現金同等物の期首残高	5,846,862	7,168,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,991,442	6,564,017

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。